

あいいいくだより6月



プールで流行する感染症



夏は、厳しい暑さから食欲不振になったり、生活習慣が乱れやすく夜更かしが続いたりして、なにかと体調を崩しがち。そんな私たちを狙っているのが感染症です。

感染症とは、ウイルスや細菌、真菌、微生物などが皮膚や粘膜などから体内に侵入して増殖し、さまざまな症状を起こす病気のこと。

夏場に流行る感染症のうち、今回はプールでの感染症について考えてみましょう。

プール熱



●主な原因ウイルス：アデノウイルス

●症状など：正式には「咽頭結膜熱」といい、7月から9月のプールに入る時期に流行ることから通称プール熱と呼ばれています。高熱を伴い、のどと目の両方に炎症を起こします。死亡例も報告されており、重症化する可能性が大きい病気です。治った後もウイルスが咽頭や便からうつるケースが多いようです。

流行性結膜炎



●主な原因ウイルス：アデノウイルス

●症状など：目やにが出て、結膜が充血します。感染力が強く、乳児がかかると風邪の症状を伴うことが多く見受けられます。その症状は発熱やリンパ節の腫れなど。年中気をつけなければいけない病気ではありますが、特に夏はプールなどで人と接触しやすい季節なので気をつけることが大切です。

水イボ



●主な原因ウイルス：ウイルスによる良性イボ

●症状など：「伝染性軟属腫」といい、そのほとんどは自然に治ります。一度かかると免疫ができるので次に発症することはありません。ピンセットでつまんで取り去る方法など治療方法はいろいろあります。また、伝染性と呼ばれていますが、肌を露出した人と接触さえしなければ、うつることはありません。

7月のわくわくサークルのお知らせ

日時

R8.7.29(水)
10:00~11:30

わらべ歌



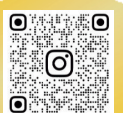
持ち物

お子さん用
のお茶

場所

西庄公民館
1階和室

愛育会のInstagram



坂出市愛育会